

### 3-2 過去の記述式問題の解答例(2001年~2006年)

#### 2006年問題A

問 1 鉄筋偽装問題に関し、私は技術者の観点から、(1)技術者としての倫理観、(2)チェック能力の向上、(3)過度な価格競争の3点が重要な問題点と考える。

問 2 上記の問題点に関連し、コンクリート診断士としての資質、診断にあたっての態度について、私は以下のよう考える。

(1) 調査診断や補修業務は、一連の行為のすべてが自記生データで管理されるわけではなく、人の手を経るため、得られた数値を恣意的に変更するなどの行為が入る余地がある。これらを、システムの改良のみで完全に防止することはできない。現在多くの資格審査試験では、職業倫理観のチェックが行われている。コンクリート診断士も、技術者倫理観に関する意識を、今以上に高めていく必要がある。

(2) 技術の多様化、高度化に伴い、多くの技術がブラックボックス化している。調査、診断においても、たとえば非破壊測定法の測定原理を理解せずに、出てきた結果の読みを鵜呑みにすることがある。鉄筋量を計算する構造計算ソフトを使うのは人間、また非破壊試験装置を使うのも人間であることを肝に銘じ、診断で得られたデータの意味が理解できるよう、日々向上心を持ち、チェック能力向上のために研鑽に努める必要がある。

(3) 受注高の増加を狙った低価格受注は多くの工事で問題になっていく。受注者による無謀な低価格受注は、必ず品質に問題が出る。これとは逆に、発注者が予算の制約を楯に安値受注を強要することでも品質の低下を招く。コンクリート診断士の立場から、このようなことで診断内容が左右されないよう最大限の努力を必要がある。コンクリート構造物はわれわれが安全で快適な生活を送るために必要不可欠なものである。それらを脅かすことにつながる今回のような事件を2度と起こしてはならない。

(25字 × 32行 = 800字)